

国会闘争速報

2006年10月19日 第2号

発行：全国労組交流センター

東京都台東区元浅草 2-4-10 五宝堂・伊藤ビル5F

TEL 03-3845-7461 FAX 03-3845-7463

kokkaitousou@yahoo.co.jp にアドレスを送ってください。連日、「国会闘争速報」をメールします。



教育労働者のリレーハンストつづく

国会前が闘いの大合流点に

国会前での教育労働者のリレーハンストは、17日に続き、18日も朝9時から午後6時まで闘われました。昨日ハンストに入った教育労働者のうち、2人が今日も闘いを継続。さらに、不当な分限免職処分を受けて裁判闘争を闘っている教育労働者1人と、その支援者1人がハンストに加わりました。

国会前での教育労働者のリレーハンストは、この日も座り込みを継続しました。昨日に続き、闘いが始まったという知らせを聞いた多くの労働者・市民が国会前につけてきました。広島教育労働者は、国会前の闘いと連帯し、21

日に原爆ドーム前でハンストに入ると宣言しました。共謀罪阻止の陣形とも合流し、教基法改悪案も、共謀罪も、ともに廃案にしようと呼びかけました。全教の労働者からも声援

の労働者が国会前でデモと集会を開き、その隊列の中からも、ハンストに対して「頑張れ」という激励の声が上がりました。19日からは、日教組と東京教組の国会前座り込み行動が始まります。23日には教育基本法の改悪をとめよう！全国連絡会主催の院内集会在予定されています。全国の職場・地域から、国会前を最大の結集点として、さらに大きな闘いを作り出していきます。

10月10日から独自の座り込み

教基法改悪阻止へ 国会前での発言

●分限免職処分撤回をたたかう教育労働者・増田都子さん

私は侵略と植民地支配の真実を教えたために都教委に不適格とされました。他方で都議会で自民党の古賀議員は「日本はど

り「国会前にたたかいたいがあるからそこに行け」と言われたのできた。先生がハンストをやっているのを見て勇気づけられました。京大も教育現場からの反対の声をくれます。

●日教組退職者会の幹事の方

改悪案は国家権力が教育に介入できる。私は戦争中に小学校で「天皇陛下のために死ねる人間になりなさい」と教えられた。二度と繰り返してはならない。

私は全国の退職者会に改悪反対の要請文を集めるよう呼びかけ、すでにたくさん集まり始めてま

す。全部の文教委員に要請していくことになってます。

●ハンスト2日目のFさんのまとめの提起

今日は国会前がにぎわいはじめてるなと感じました。ハンストが教基法改悪を遅らせている。闘いが広がれば採決をやらなくなる。そうなれば安倍内閣はもともと弱い。今の世の中の流れが逆転していく。労働者がどれだけの力をもっているかという。世の中の主人公はわれわれなんだ。その突破口になっているのだと思います。たたかうのは本当に楽しいなと実感できました。

●京大生 NYくん

京都で大内さんの講演会があ

るための行動をしましょう。これが全国化する。教職員こそ我が身を削ってでもこれを阻止するための行動をしましょう。

戦争を阻むのは日韓米労働者の国際的団結だ

11・5労働者集会1万人結集の力で

安倍政権打倒へ突き進もう

北朝鮮の「核実験」を口実にした、日米両政府による戦争の危険が切迫しています。アメリカは、イラクに対して仕掛けたのと同様の侵略戦争を、いま北朝鮮に仕掛けようとしています。安倍政権は、これに「周辺事態法」を適用して、米軍の行う海上封鎖をはじめ

めとした軍事行動に自衛隊を参加させると言い出しました。北朝鮮の船を追いかけて、停船しなければ発砲するということです。自民党の中川政調会長は、北朝鮮に対抗して日本も核武装を検討せよとさえ言っています。

北朝鮮・金正日政権の行為は世界の

11・5全国労働者総決起集会

日比谷野外音楽堂・正午開会



海外からのアピール

韓国から 民主労総ソウル本部
アメリカから

ILWU (国際港湾倉庫労組)

AMFA (ノースウエスト航空整備士労組)

●「日の丸・君が代」不起立被処分者の発言

呼びかけ 全日建運輸連帯労組関西地区生コン支部
全国金属機械港合同
国鉄千葉動力車労働組合



改憲・戦争と民営化の労働破壊に立ち向かう労働者の国際的団結を

教育基本法の改悪をとめよう! 11・12全国集会

11月12日(日)日比谷野音

13時開場 13時半開会 15時半デモ出発

呼びかけ人 大内裕和(松山大学) 小森陽一(東京大学)
高橋哲哉(東京大学) 三宅晶子(千葉大学)

主催 教育基本法の改悪をとめよう!全国連絡会



沖縄 米軍ミサイル搬入を實力でとめる

沖教組、沖高教組
や自治労を先頭に

基地ゲート前に3日間座り込む

沖縄では、労働者の団結した力で戦争を実際にぶつとめる闘いが始まりました。10月8日夜から11日朝まで、うるま市の米軍天願棧橋ゲート前で3日間わたる座り込みにより、嘉手納基地に新たに配備されるパトリオットミサイルの搬入を、まるまる2昼夜にわたって完全に阻止したのです。その先頭に立ったのは、沖教組・沖高教組や自治労、全港湾などの労働組合です。「労働組合が本気で闘えばすごい力を発揮する」「沖縄の労働運動がよみがえった」という声が、いま、沖縄中を駆けめぐっています。この闘いに連帯して今国会闘争をぶちぬこう。

人民の核廃絶への願いを踏みとめる力です。

11月5日には、全日建関西生コン支部、全国金属機械・港合同、動労千葉の3労組によって、11・5全国労働者総決起集会が呼びかけられています。この集会には、韓国・民主労総やアメリカの闘う労働組合も参加します。

11・5とともに結集し、日韓米3国の労働者の国際連帯と不拔の団結をうちたて、安倍政権打倒へ突き進もう。